

## 1 平成 20 年 9 月中間期の連結業績 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日)

(百万円未満切捨て)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 9 月中間期	37,385	3.2	1,549	55.0	1,632	58.7	874	14.8
19 年 9 月中間期	36,211	8.2	999	28.2	1,028	27.2	761	35.0
20 年 3 月期	82,707	-	4,060	-	4,147	-	2,476	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20 年 9 月中間期	69,502	25,286	35.9	1,559	76
19 年 9 月中間期	68,398	23,459	33.7	1,440	35
20 年 3 月期	73,045	24,877	33.5	1,528	07

(注) 連結対象会社は 5 社

## 2 平成 21 年 3 月期の連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	83,500	1.0	3,870	4.7	4,000	3.6	2,260	8.8	141	28

上記の予想は本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 3 当中間期における事業の概況および下期の見通し

建設業界は、国内工事全体の縮減傾向が継続するなか、原材料価格の高騰により建設資材価格が大幅に上昇するなどの影響で、事業環境が厳しい状況で推移いたしました。

こうした環境の下、当社は、賃貸料および販売価格の改善に注力し、あわせて、在庫商品の販売を抑えて収益の確保に努めてまいりました。

当下半期の見通しとしましては、金融危機から世界的な経済低迷が顕著になるなか、建築需要の減退が進み、鋼材価格の乱高下や与信リスクの拡大が伴って、事業環境はさらに厳しくなると考えられます。当社は、企業としての供給責任を果たしつつ、適正な利益を確保すべく取り組んでまいります。

以 上